

# みはる議会だより号外

## 3月2日(月)～12日(木) 定例会3月会議開催

～ 町の話、あなたならどう考える? ～

### 1 部活動地域移行 令和8年度以降の取り組みは

国は学校部活動のあり方について、教員の長時間労働の是正や持続可能な活動環境の確保を目的として、部活動の「地域移行」を進めております。

当町では、国の方針に基づいて令和5～7年度を改革推進期間とし、中学校の運動部活動を地域へ段階的に移行しています。

地域人材バンクを設置して各競技へ指導者を派遣し、休日を中心に活動しています。この流れは文部科学省が示す方針でもあり、全国の自治体で検討・実施が進められています。

一方では、地域移行は単なる運営主体の変更ではなく、子どもたちの成長機会、保護者負担、練習場の確保、地域格差など多くの課題を内包しています。

そこで当町における現状・今後の展開について質問します。

- 1) 令和5～7年度の3年間の改革期間の実績
- 2) 人材バンク登録者数と実施競技の現状
- 3) 指導者の確保
- 4) スポーツ少年団との今後の連携
- 5) 教員の負担減
- 6) 令和8年度以降の取組み（国の補助金制度の活用は）
- 7) 文化部の進捗状況

⑦ 大内 広信 議員



### 1 認定農業者の認定について

- 1) 認定の資格要件はどのようなものか。
- 2) 年齢の制限はあるのか。
- 3) 農地等の所有要件（面積等）はあるのか。
- 4) 認定を受けた場合の助成はあるのか。

⑧ 橋本 善一郎 議員



### 2 65歳未満の新規就農者の認定について

- 1) 認定に必要な要件は何か。
- 2) 助成策はあるのか。

### 3 みどりの食料システム法の認定制度について

- 1) 認定制度の導入に取り組む考えはあるのか。

### 4 果樹栽培の振興について

- 1) トレーニングファームの導入の考えはあるのか。

### 5 小規模農業に対する助成策はあるのか

- 1) 地域において集落の形成維持には小規模農業者も大切な存在である。  
町独自の助成策はあるのか。

### トピック1▶ 「条例制定や令和8年度予算など計33の議案が提出」

令和8年三春町議会定例会3月会議では、「三春の酒で乾杯条例」や「三春町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」、「三春町健康診査負担金徴収条例の一部を改正する条例」のほか、令和7年度各種会計補正予算や令和8年度各種会計予算などの議案が提出されます。

### 定例会3月会議日程(予定)

3月2日	本会議(午前10時)	9～10日	各常任委員会・分科会
	・会議録署名議員の指名	11日	予算決算特別委員会
	・会議日程の決定	12日	本会議(午後2時)
	・諸般の報告		・付託議案の委員長報告、 質疑、討論、採決
	・町政施政方針		・同意案件の討論、採決
	・議案の上程		・委員会提出議案の討論、 採決
	・提案理由の説明、質疑、 委員会付託		
3日	本会議〔一般質問〕		
4～5日	予算決算特別委員会		散会
6日	各常任委員会・分科会		
7～8日	議案調査のため休会		



### トピック2▶ 「3月3日(火) 午前10時～役場3階議場にて一般質問」

8人の議員が一般質問を行います。  
今回は手話通訳者による通訳を実施し、より多くの皆さまに議会のようにお届けします。  
議会傍聴でぜひ町政の"いま"をご覧ください！



※団体での傍聴や委員会の傍聴を希望される方は、事前に議会事務局までご連絡ください。  
(電話62-8124)

傍聴についてのご案内はこちら👉



## 1 職員の給与について

- 1) ラスパイレス指数は三春町は97くらいと思いますが、いかががお尋ねいたします。
- 2) 福島県において100を超えている市町村があります。三春町もまず100にすべきだと思います。予算編成での取り組みを期待しますが、町の考えは。

① 佐藤 弘 議員



## 2 年次有給休暇の取得について

- 1) 年次有給休暇の現在の取得状況はどうかお尋ねいたします。
- 2) 年休を100%取得できる職場環境はあるのかお尋ねいたします。
- 3) 今後切り捨てをなくすため、使用者のなすべきことは何でしょうか。

## 1 町民スマホ教室は

- 1) 現在、確定申告の相談予約、町民健康診断の予約受付、集団ワクチン接種の予約など、さまざまな行政サービスがスマホ1台で完結することは存じています。他に、スマホでできるサービスがあればいかがですか。
- 2) 現在、70代や80代でもスマホを所持している場合が多いと思います。しかし、電話機能や家族との連絡手段としてしか使用されていないことが多いかと思えます。デジタル弱者への無料スマホ操作説明会などを開催しているのでしょうか。

② 篠崎 聡 議員



## 2 救急要請する基準は

- 1) 町立学校で事故や急病が発生した場合、救急要請をする基準はありますか。
- 2) 児童や生徒がけがや病気をした際に、救急車を呼ぶほどではないが医師の診断が必要とされたときの受診体制はありますか。

## 1 児童クラブとまほらっこ教室のあり方

保護者が安心して働ける環境を整備し、子育て支援の充実を図るために、町では放課後等の子どもの居場所づくりの推進として児童クラブやまほらっこ教室の運営をしていますが、保護者の就業時間などの違いから預けるシステムに疑問を感じている保護者の声を耳にします。

そこで、町が提示している児童クラブとまほらっこ教室のあり方についてお尋ねいたします。

③ 遠藤 亮子 議員



## 1 行政サービスのあり方

議会として毎年、意見交換会を開催しております。そこで出てきた町民の方々からの貴重な意見や要望を整理して、町民からの意見や要望として行政に提出しておりますが、その回答があまりにも漠然としていて的を射たものとなっていないことが多いと感じます。

- 1) 執行者として町民等からの意見や要望に対しての対応表現を明確に示すべきと考えるのがいかがか。行政サービス対応も昨今、DX化が進んで非常に便利になってきている一方、その進化についていけない町民も少なからずいらっしゃるのが現状ではないかと思えます。そのような町民が何かの問題を抱えて来庁した時に、どこの窓口に行けばよい分からずに困ったなどのケースもあると聞くことがあります。
- 2) フロアマネージャーデスクを設けられないか。
- 3) (仮称)「すぐ対応グループ」を各課に設置できないか。

④ 三瓶 一壽 議員



## 2 小さな拠点づくりについて(その後)

定例会9月会議において「三春式コンパクトシティのあり方」について質問しました。さらに定例会12月会議ではその具体的なイメージである「小さな拠点づくり」について質問しました。これらに対する答弁で、地域ごとに交流の場を設け、支え合いの仕組みづくりを進めるとのことでした。その具体的方法の一つとして、庁内にプロジェクトチームをつくるということでした。三春町の第8次長期計画が始動して1年が過ぎようとしています。

- 1) 庁内に小さな拠点づくり推進のプロジェクトチームはできたのか。
- 2) 小さな拠点づくりに対するロードマップはできているのか。

## 1 賑わい創出事業について

- 1) 週に2~3日しかオープンしない店への補助金はどうなのか。
- 2) 前入居者が改修した店舗でも、次の入居者が改修を要する場合、補助の対象となることについては。

⑤ 松村 妙子 議員



## 1 磐越東線の活性化について

赤字区間を抱えるJR磐越東線の利用促進や沿線地域の活性化に向け、「磐越東線活性化対策協議会」が設置され、利用促進をはじめ、様々な取り組みを行っています。具体的には、SNSにアカウント「マイレール磐越東線」の開設、各自治体等の取組みとして・情報発信、マイレール意識醸成・二次交通の検討、確保・利用促進イベント等、県の取組みでは昨年11月小野町で「ふくしま鉄道博」が開催されました。また、12月16日には一般社団法人田村青年会議所と三春町議会との意見交換会を開催しました。

そこで、①令和8年度の対策協議会での事業計画②ふくしまDCとの連携③三春町としての具体的な取り組み内容について伺います。

⑥ 影山 孝男 議員

